

めがね橋（白浜町滝口）

^{めいじ}明治21年（1888）に地元の寄付により造られた石積みの三重橋です。

昭和52年（1977）の修理により一部の石材が取り替えられましたが、^{しゅんこう}竣工時の規模や形状をよく残しています。延長28.3m（^{きょうだい}橋台まで含めると約34m）、^{ふくいん}幅員4mで、^{けいかん}径間7mのアーチを3基連ねた石積みアーチ工法で造られています。両岸には石積みの橋台を備え、現在は取り替えられていますが、もともとは装飾のついた鉄製の手すりがつけられていました。橋のたもとの石は^{しずおかけん いず}静岡県伊豆から運び、橋の本体の石は近くの海岸から切り出したもので、地元の石なら塩害に強いと選ばれました。意匠的にも優れた県下でも数少ない石造橋梁です。^{きょうりょう}

<参考文献>『ふさの国の文化財総覧』第一巻 安房・夷隅・長生 を一部改変



めがね橋は、多くの石を積んで造られています。よく観察すると様々な色の石が積まれています。

印刷して、ぜひぬり絵に挑戦してみてください。

※図面ではなく概略図なので、実際と異なる点がありますが、ご了承ください。

